



風早小学校 学校だより

令和7年11月18日 No.7 文責 校長 平林 明美

霜月

学習発表会・メタセコイヤ文化祭の本番（11月22日）が近づいてきました。子供達は、「風早小の新たなチャレンジ！～自分を信じて未来をえがこう～」のテーマのもと、これまで目標に向かって、力を合わせて学習発表会や全校合唱の練習を頑張ってきました。子供達の輝く姿をどうぞご期待ください。

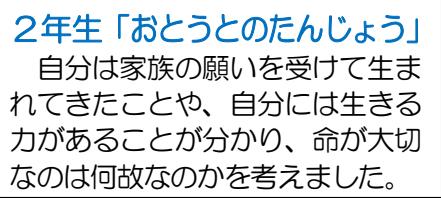
### 1年生「さるのおかあさんサヤカ」

身体が不自由でも、一生懸命に力強く生きる「さるのサヤカ」の姿から、「命の力」や「命を大切にすること」について考えました。



### 3年生「いただいたいのち」

自分の命は尊いものであり、たくさんの人に支えられ、支える命であることを知り、全ての命を大切にしていくことを考えました。



## 命の教育

### さざなみ学級

#### 「ゆきひょうのライナ」

主人公のライナの心の葛藤を通して、食べることが動物の命をいただくことだと認識し、感謝の気持ちを高めました。



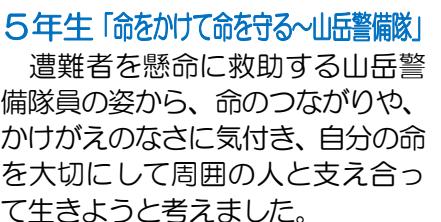
### 4年生「五百人からもらった命」

一人の命を助けるために多くの人が献血し、その子の命を救ったという話を通して、命は支え合うもので、命を大切にして生きていくことを考えました。



### 6年生「生命のメッセージ」

「生命のメッセージ展」を始めた鈴木さんの、息子を亡くした悲しみを乗り越えようとする前向きな生き方を通して、自分の命を輝かせて生きることについて考えました。



## 万葉火の準備

11月8日（土）、万葉火の準備作業がありました。6年生が安芸津中学校や豊田高校の皆さんと一緒に保野山に登り、地域の方のご指導のもと、火床に入れる薪を運びました。秋晴れのもと、安芸津町を一望しながら地域の方々と一緒に汗を流すことで、6年生は達成感を味わうことができたと思います。地域のシンボルである「万葉火」の点灯に関わることは、児童が郷土愛を育むよい機会となっています。



## 教育研究会

10月31日（金）に、教育研究会を開催しました。当日は、市内の先生方を中心に180名以上の参加者が来校されました。

今回の研究会では、本校が取り組んでいる「単元内自由進度学習」を中心に据えて授業公開を行いました。「単元内自由進度学習」とは、子供達一人ひとりが、学習の理解度や進度に合わせて、自分で学習計画を立てたり、課題を選んだりしながら、主体的に学びを進めていく学習方法です。研究授業では、子供達が自分で立てた計画に沿って、主体的に課題に取り組む姿が見られました。参加された先生方からは、子供達の真剣に学ぶ姿や、生き生きとした表情に対し、数多くのお褒めの言葉をいただきました。

また、木村文子先生をお招きして行った講演も大変好評で、参加者一同、今後の教育実践に役立つ多くの示唆をいただくことができました。

今回の研究会では、地域の方にゲストティーチャーとして授業に協力していただきたり、みづき会の皆様に校内のお花を活けていただきたりと、地域の皆様に大変お世話になりました。そして、当日、お手伝いいただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

研究会での成果やご意見を、今後の授業改善や子供達の育成に生かし、より一層、質の高い教育を目指して教職員一同努めてまいります。



## 東広島市小学校陸上記録会

10月25日（土）、東広島市小学校陸上記録会が、東広島運動公園陸上競技場で行われました。この日に向けて、限られた時間の中で、高学年の児童は練習に励み、標準記録を突破したり、学校代表として選出されたりした選手が出場しました。選手は、これまでの練習の成果を発揮しようと、それぞれが選手する種目に全力で臨みました。自己記録を更新した選手も多く、どの選手も精一杯力を発揮し、躍動した姿を見せてくれました。

